



# 合格体験記

T.O さん

(2017年度 税理士試験 簿記論合格)

## ①TACでの受講を選んだ理由

以前、他校で不合格だったので。

## ②TACで受講して良かったところ

他校では教室講座を受けていたので、TACに入りDVD講座を初めて受けたのですが、非常にわかりやすく、以前暗記して無理やり解いていた問題も、理解が深まったことで暗記に頼らなくても良くなった。

## ③DVD講座や講師の良かったところ

本当に全てが分かりやすい。DVDの初学者レギュラー担当の安部先生・松井先生と質問電話で何度かお話ししたが、非常にいい感じでやさしく、また例え話がユーモアで人気講師の先生はやっぱり別格だと感じました。

## ④TACの教材について

テキストに各ページに余白をとってあり、そこに講義内容で言われた重要点をメモ書きする事ができ、私は別途ノートを作る必要が無かったので非常によくできていると思いました。

## ⑤1日の学習時間（TACでの講義時間を除く）

- 4月までの講義時期：1月速修に4月から合流したので、4月はほぼ毎日講義を視聴していました。
- 5月～7月の直前期：7～8時間

## ⑥受講中苦労したことや、学習上の工夫、常に心がけていたこと等

なぜ、このような仕訳をするのか？などの根拠を自分なりに理解しておく、試験中ど忘れしても思い出せれば、復元することができる（長期的記憶になりやすい）

## ⑦会計科目の具体的な学習法

とにかく個別問題をとくこと（最低でも3問は必要）で基礎を固める（仕訳をただ暗記するより、理解が大切）。総合問題でミスした論点があった場合、その都度テキスト個別問題に立ち返る。答練期に入ると、答練毎にミスした論点や気づいたことを間違いノートに書いて、総合問題を解く前に毎回目を通す習慣を作る。間違いノートの後ろのページにケアレスミスをした都度記入し、回数を正で数えておく。その傾向からケアレスミスを減らす工夫をする（どんな時にミスが起こるのか自分なりに分析する）。もちろん答練の解き直しは必ずする（私は直後に1回、1ヶ月後に1回と計2回やりました）。疑問に思ったことは、質問電話で全て解決する。直前1ヶ月は過去問をつかって素読みの練習をする。

## ⑧これからの受験生へメッセージ

合格するまで2年かかった私が今思うことは、簿記論は基礎と素読み（問題の取捨選択）ができれば合格できる試験であるということです。簿記論の難易度は非常に高く、問題量も多いため、複数年簿記論をやっている上級者だろうと高得点を取れるような試験ではありません。そのため、この試験を合格するのに最も必要な能力は初学者でも取れる簡単な問題を素早く探し出し、ミスなく解くこと、これにつきます。そこを理解し、基礎固めと素読み（問題の取捨選択）の対策を立てておけば、初学者の方でも十分合格できる試験だと思います。以上、これから簿記論の学習を始める方の参考になりましたら幸いです。